

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	雪荷重・対雪設計小委員会	主 査 名：高橋 徹 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪荷重による建物被害調査を継続的に行って分析し、対雪設計に生かす。</li> <li>・最新の知見に基づいて「建築物荷重指針」の改定を行い、解説を執筆する。</li> <li>・上記指針に基づいて講習会を開催する。(荷重運営委員会に協力)</li> <li>・上記指針を補完する関連資料集を執筆して発刊する。</li> </ul>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無	
	主査：高橋 徹 (千葉大学) 幹事：堤 拓哉 (北方建築総合研究所)、千葉隆弘 (北海道工業大学) 委員：和泉正哲 (大崎総合研究所)、老川 進 (東京大学)、岡田 恒 (日本住宅・木材技術センター)、小坂橋裕一 (日建設計)、小竹達也 (大成建設)、桜井修次 (北海学園大学)、苫米地司 (北海道工業大学)、富永禎秀 (新潟工科大学)、中島 肇 (清水建設)、前田博司 (福井工業大学)、三橋博三	
設置 WG (WG 名：目的)	対雪設計技術 WG ・設計実務者を中心に構成し、雪荷重による建物被害の要因分析と対策方法について小委員会と一体となって議論を行う。	
2013 年度予算	230,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s25/

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 2014 年寒候期は 4 年連続の大雪となっており、死亡事故も多発している。建物被害についても注意深く情報収集している。 2. 「建築物荷重指針」の改定原稿はほぼ予定通り脱稿し、現在構造本委員会による査読中である。 3. 「指針関連資料」についても原稿を蓄積しつつある。
委員会活動の問題点 ・課題	委員会の性格上地方在住者が多く、規定どおりの旅費を支給すると委員会開催 1 回で予算を使い切ってしまうため、出席者の偏りがみられ始めている。遠慮なく参加してもらえるように配慮したい。